

三木 義一 みき よしかず



青山学院大学学長

2015年12月16日に第18代学長に就任。任期は4年間。東京生まれ。1975年一橋大学大学院法学研究科博士課程を中退。2010年に立命館大学法科大学院から青山学院大学法学部に移籍。2014年から法学部長、大学院法学研究科長、評議員などを歴任。

2015年6月に示された文部科学省の「通知」に対して、新学長は、私立大学としてどう受け止めるかを考えていると話す。

「確かに真摯に受け止めるべき論点もあるが、他方で大学がすぐに社会に役立つことのみを目指して良いようにも思えない。特に、人文知を中心に発展してきた本学の場合は、一見無駄に思われる教育・研究がほとんどである。しかし、それぞれの時代で無駄に思われていた研究が次の時代を切り開くものを生み出してきたことも忘れてはならない。ただ、今の大学教育・研究がたこつぼ化していることも問題で、人文知相互間の融合や理工知との融合を教育・研究面で促進していく必要がある」

「本学は『おしゃれて素敵な大学』として定評があるが、着実な改革を通じて、学生が研究を楽しむ、『おしゃれて知的な大学』ともいわれる大学にしたい」とのことである。

著書には『日本の税金』『日本の納税者』（いずれも岩波新書）などがあり、主権者たる納税者に警鐘を鳴らしている。

上山 大峻 うえやま だいしゅん



筑紫女学園大学学長

筑紫女学園大学の上山大峻学長は大村英昭前学長の急逝を受け、本年1月1日付で学長に就任した。上山学長は1934年山口県生まれ。1962年龍谷大学大学院文学研究科博士課程仏教学仏教史専攻単位取得満期退学。1999年龍谷大学学長、2015年筑紫女学園顧問。専門は仏教学。主な著書は『敦煌佛教の研究』『仏教を読む』『金子みすゞがうたう心のふるさと』など多数。主な学会活動は「日本印度学仏教学会」

「日本西蔵学会」「日本宗教学会」「仏教史学会」「龍谷仏教学会」などで、現在も活動中である。

筑紫女学園は浄土真宗の精神をもって女子教育を行うことを建学の精神として設立され、2017年には創立110周年を迎える伝統ある学園である。大学では文学部、人間科学部に加え、昨春に開設した新学部である「現代社会学部」が2年目を迎える。より実践的なカリキュラムを導入した現代社会学部は、今後さらに、メディアを活用したPR戦略やさまざまな企画を通して、その狙いを社会に発信していく。

新学長は、大学が特に力を注いでいるキャリア教育の強化についても、卒業後、社会や企業・組織などにおいて有用な知識や能力が発揮できるように、あくまでも学生一人ひとりの能力の開発を目指しながら、同時に豊かな人間性も育ていきたいと抱負を述べた。

**入江和生** 共立女子大学・短期大学学長。'69  
東京外国語大学大学院修士課程修了。英文学  
専攻。文芸学部長を経て、'08より現職。著書  
に「シェイクスピア史劇」ほか。

**安村仁志** 中京大学学長。'74大阪外国語大学  
大学院修了。ロシア正教史専攻。中京大学教  
養部長、図書館長、副学長などを経て'15より  
現職。主著「東シベリアの歴史と文化」ほか。

**竹内比呂也** 千葉大学副学長、附属図書館長、  
アカデミック・リンク・センター長、文学部  
教授。愛知淑徳大学大学院文学研究科博士後  
期課程単位取得退学。図書館情報学専攻。

**林義勝** 明治大学図書館長、マンガ図書館  
長、文学部教授。カリフォルニア大学サンタ  
バーバラ校歴史学博士。CEJ。専攻はアメリ  
カ外交史。共著「アメリカ史研究入門」ほか。

**河内鏡太郎** 武庫川女子大学附属図書館長、  
共通教育部教授、元・芦屋市谷崎潤一郎記念  
館長。読売新聞大阪本社入社後、社会部長、  
編集局長などを経て専務取締役。'11より現職。

**青木辰司** 東洋大学附属図書館長、社会学部  
教授。東北大学大学院教育学研究科博士課程  
単位取得退学。専門は環境社会学。主著「転  
換するグリーン・ツーリズム」ほか。

**赤木完爾** 慶應義塾図書館長、法学部教授。  
慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了。  
法学博士。専攻は政治学、国際関係論。主著  
「第二次世界大戦の政治と戦略」ほか。

**山内乾史** 神戸大学教育推進機構／大学  
院国際協力研究科教授。博士(学術)。「09主著  
「学校教育と社会」ノート——教育社会学へ  
の誘い——」(学文社、2015)。

**夏目達也** 名古屋大学高等教育研究センター  
教授。名古屋大学大学院教育学研究科満期退  
学(教育学)。共著「大学教員準備講座」(玉  
川大学出版部、2010年)など。

**清水敦** 武蔵大学経済学部教授、FD委員  
会委員長、前学長。東京大学大学院経済学研  
究科博士課程修了。経済学博士。専門は経済  
学説史、経済理論。

**中西良文** 三重大学教育学部准教授、高等教  
育創造開発センター教育評価部門長。「04から  
現職。著書「三重大学「4つの力」スタート  
アップセミナー」(編著)。

**清水正之** 聖学院大学学長。東京大学大学院  
人文科学研究科博士課程単位取得退学。専門  
は倫理学、日本倫理思想史。主著「日本思想  
全史」、『国学の他者像——誠実と虚偽』ほか。

**坂下史** 東京女子大学現代教養学部人文学  
科教授、教務委員長。東京大学大学院人文社  
会系研究科博士課程単位取得退学。主著「イ  
ギリス史研究入門」(共著)など。

**日高義博** 専修大学理事長、前学長。本連盟  
理事。専修大学法学部卒業、明治学院大学大  
学院法学研究科博士課程単位取得退学。法学  
博士。刑事法専攻。主著「刑法総論」ほか。

**井上諭一** 文部科学省高等教育局学生・留学  
生課長。九州大学工学部卒業。「91科学技術庁  
入庁。海洋地球課長、科学技術振興機構経営  
企画部長などを経て、「16より現職。

**安武妙子** やすたけたまこ 創価大学経済学部専任講師。ハワ  
イ大学博士課程修了。博士（国際経営学）。専  
門はフアイナンス。モナシユ大学マレーシア  
校講師を経て、'14より現職。

**山崎和海** やまざきわかみ 立正大学学長。'72早稲田大学大  
学院理工学研究科修士課程修了。修士（工  
学）。'10より現職。専門は経営情報学。主著  
『情報化戦略とシステムパラダイム』ほか。

**田中修司** たなかしゅうじ 株式会社エイチ・ユー代表取締  
役。'89法政大学経済学部卒業。同大学入職後、  
経理部、人事部を経て、'144月より現職。

**深井麗雄** ふかいりょうお 学校法人関西大学広報アドバイ  
ザー。毎日新聞社編集局長などを経て'07関西  
大学政策創造学部教授、'15から現職。地域メ  
ディアの在り方などを研究。

**玉村雅敏** たまむらまさとし 慶應義塾大学総合政策学部教授。  
博士（政策・メディア）。主な著書『ソーシヤル  
インパクト』（産学社、2014）『社会イノベー  
ションの科学』（勤草書房、2014）など。

**野村忠宏** のむらただひろ 天理大学体育学部卒、弘前大学大  
学院医学研究科修了、医学博士。祖父は豊徳  
館野村道場館長、父は天理高校柔道部元監督、  
叔父はミュンヘンオリンピック金メダリスト  
という柔道一家に育つ。アトラクタ・シド  
ニー・アテネのオリンピック3大会連続で金  
メダルを獲得し、'15に現役を引退。著書に『戦  
う理由』。

**山岡三子** やまおかみこ フリーアナウンサー。学習院大学  
卒。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究  
科博士後期課程修了。博士（社会デザイン  
学）。名古屋短期大学客員教授。

- 1月7日(木) 日本学術会議新春緊急学術フォーラム「少子化・国際化の中の大学改革」に講演者・パネリストとして出席
  - 1月12日(火) 第8回理事会、新年交歓会出席
  - 1月19日(火) 第10回常務理事会出席
  - 2月9日(火) 第11回常務理事会、第9回理事會出席
  - 2月17日(水) 日本私立大学団体連合会・第106回役員會出席
  - 2月22日(月) 全私学連合「私学振興協議會(懇談會)」出席
- 清家篤会長および全私学連合を構成する各私学団体の会長は、自由民主党の河村建夫議員(私学振興協議會共同代表・元文部科学大臣)をはじめとする文教関係国会議員と懇談し、2017年度の私学助成拡大と税制改正に向け、私学に関する理解を求めた。
- 2月23日(火) 「各種団体協議會(懇談會)」出席

開催報告

● 1月12日(火)  
**「新年交歓会」開催**

本連盟にご支援・ご協力をいただいている方々をお招きして開催する新年交歓會が開催され、清家篤会長の年頭あいさつ、白井克彦顧問の乾杯の後、310名のご出席者が新年の歡びを交わした。



新年交歓會 (ご歓談の様子)

● 1月18日(月)  
**「学長會議第2回全体會議」開催**

「大学教育とは」多様な三つのポリシーの「一体的策定」をテーマに

開催。

多様性こそが特長である私立大学が「学士力や社会人基礎力などを担保した豊かな人間性を有する人材を育成する」ために、個々の大学が社会のグローバル化や学生のユニバーサル化を念頭に置きながら、ディプロマ・ポリシー(DP)から見たアドミッション・ポリシー(AP)、APからDPの流れを踏まえた両者をつなぐ多様なカリキュラム・ポリシー(CP)の3つのポリシーをいかに確立するか。3つのポリシーの一体的策定・確立のためには、教養教育と専門教育との連関、学部教育と大学院教育との連関、さらには学士課程教育と職業実践教育との連関にかかわる検討が不可欠ではないかとの認識のもと、大学教育とは何か、個々の大学における大学教育が果たすべき役割とは何かを再考し、各大学における多様な3つのポリシーの一体的策定に向けた検討の一助とすべく開催。60の加盟大学から63名の参加があった。

● 2月22日(月)  
**「国の補助金等に関する説明會(第2回)」を開催**

「平成28年度私立大学関係政府予算案」および「平成28年度国公私立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進に関する政府予算案」に加え、「科研費改革の動向及び平成28年度予算案」について文部科学省担当者による報告・説明を受け、理解を深めた。

その後、各大学の個別質問を受け付けるブースでは、文部科学省担当者による詳細な説明や質疑応答が行われた。

当日は、88の加盟大学から323名の参加があった。



個別ブースで質疑応答を行う加盟大学参加者と文部科学省担当者

# 大学時報 年間総目次 第362号(2015・5) ◆ 第367号(2016・3)

第362号(2015・5)



クロースアップインタビュー  
菊永英里さん

すいそく

被災農地と向きあつて

大澤貫寿

小特集 大学・高等学校教育改革のこれから〜高

大接続改革実行プランをふまえて〜

高大接続改革実行プランと大学のあり方

高大接続改革の特質と論点

私立大学付属校の高大接続と教育改革

英文概要版「留学生担当者用 大規模災害時の留学生サポートマニュアル」の公表について

障害のある学生への合理的配慮

特別連載 高校は今〜これからの高大接続・連携を考える〜(愛知県編)

グローバル社会を生きたる高校生のために

高大連携によるグローバルリーダー育成

探究活動を中心にしたSSH・SGHへの取り組み

学校で学び地域で学ぶ総合学科

地域社会貢献としての高大接続・連携

私の授業実践——教育現場の最前線から

学生の視点を反映した授業改善への取り組み

明日への試み

青山学院大学地球社会共生学部

「地球社会共生学部(社会科学系)グローバル人材育

成学部」の設計と私学の矜持を持って

同志社女子大学看護学部

新島襄の医療人教育への志を今に受け継ぐ看護学

教育

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

90年以降の状況の中で——福岡女学院大学人文学

部の歩み——

加盟校の幸福度ランキングアップ(地元商店街と

の連携編)

魚らんラボラトリー(魚らんラボ)での活動報告

明治学院大学

商店街と大学との地域連携の新展開——「学びの

場」から「実践の場」へ——成城大学

復興支援と「商店街」・東北学院大学

クロスアップ・インタビュー

株式会社Chrysan代表取締役 菊永英里さんに

聞く (聞き手) 山岡三三子

新会員代表者紹介

井上 博(阪南大学) / 長澤忠徳(武蔵野美術大

学) / 野尻俊明(日通学園) / 清水正之(聖学院)

／川名明夫(拓殖大学)

新学長紹介

安村仁志(中央大学)

表紙・大学点描 早稲田大学

だいがくのたから 東京経済大学

平澤典男

岡山寧子

吉田修作

服部圭郎

境 新一

泉 正樹

山岡三三子

武蔵野美術大

聖学院

拓殖大学

中央大学

早稲田大学

東京経済大学

服部圭郎

境 新一

泉 正樹

山岡三三子

武蔵野美術大

聖学院

拓殖大学

中央大学

早稲田大学

東京経済大学

第363号(2015・7)



クロスアップインタビュー  
茂木友三郎さん

巻頭言 創立50周年を迎えて 大城光正

巻頭論文 人口減少時代の地方中核私大のジレンマ 市川太一

座談会 戦後70年の私立大学の歴史、果たしてき

た役割を振り返る——教育、研究、社会貢献、

機会均等の観点から

清成忠男／大沼淳／寺崎昌男／土持ゲリー法一

／(司会) 羽田貴史

特集 わが国における「ユニバーサル化」——社

会入学生の現在地から——

日本のユニバーサル化の担い手は誰か

杉谷祐美子

大学などにおける社会人学び直しの推進

牧野美穂

大学のユニバーサル化——どう変わるのか

白井克彦

地域を超えた生涯学習のユニバーサル化——明治

大学・成田社会人大学 藤江昌嗣

社会人にとつての「大学再入学」 石井育子

「すいそく」

教育のグローバル化で世界の平和を 五十嵐久也

小特集 日本全体に活力を生み出す私立大学の地

方創生

山形県庄内地域の人口減少と本学の取り組み

山口泰史

全国運動型地域連携「To-Callabo」 木村英樹

経験値教育と地域創生 大江 篤

大学における地域イノベーション教育の推進——

新たな学習観・成長観のもとで—— 山川肖美

2020年東京オリンピック・パラリンピック

競技大会に向けた大学への期待 田中聡明

私の授業実践——教育現場の最前線から

苦しみから生まれる喜び 上杉めぐみ

明日への試み

龍谷大学国際学部

「グローバル化」と「国際化」に対応した人材の

育成 久松英二

跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部

観光コミュニケーション学部新設の理念と特色

小川 功

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

「合同」か「連合」か——「キリスト教大学」設立

運動 大西晴樹

加盟校の幸福度ランキングアップ《グッドデザイ

ン賞編》

グッドデザイン賞の受賞に繋がったPBL型建築

設計教育についての一考・立命館大学

宗本晋作

伝統ある景観の継承と創造・成蹊学園 高橋章建

大学のグローバル化と国際学生寮・芝浦工業大学

丁 龍鎮

クロスアップ・インタビュー

キッコーマン株式会社 取締役名誉会長 茂木友三

郎さんに聞く (聞き手) 山岡三子

新会員代表者紹介

鈴木佳秀(フェリス女学院)／高島一路(福岡女学

院)／山田耕太(敬和学園)／富田信穂(常磐大

学)

新学長紹介

大村英昭(筑紫女学院大学)／高見令英(国際武道

大学)／斉藤言子(神戸女学院大学)／大槻勝紀

(大阪医科大学)／川島明子(園田学園女子大学)

／佐久間賢祐(苦小牧駒澤大学)

表紙・大学点描 京都産業大学

だいがくのためから 和光大学

第364号(2015・9)



クロスアップインタビュー 廣田 遥さん

巻頭言

愚直に伝統を守り、果敢に挑戦する

山田徹雄

巻頭論文

改革の先にあるもの

規矩大義

座談会

4年制私立大学における看護師養成の未来

未来

岡山寧子／齋藤泰子／小寺栄子／菱沼典子／(司)

(会) 小林直毅

特集 特徴ある正課外教育で学生を教育する

正課外教育における学生の学びと成長 河井 亨

正課外教育のもつ教育力 逸見敏郎

正課教育、準正課教育、正課外活動——「愛大生コンピテンシー」の育成のために——

村田晋也／小林直人

正課×正課外の連携による総合力の育成——金沢

工業大学の学修スタイル—— 大澤 敏

哲学するチカラを基盤としたグローバル・キャリア教育プログラム—— 東洋大学の取り組み 柳川悦子

MVPの講座を受講して、MVPになろう！ 田中愛治／菊池彰徳

すいそく 街の再開発、大学の再開発 坂口吉一

小特集 エコキャンパスの今 服部拓也

大学における環境対策の現状と課題 エコ・キャンパスをめざして—— 法政大学の経験 増田正人

と直面する課題—— 増田正人

グリーンキャンパスづくりの現状と課題—— 芝浦 中口毅博

工業大学大宮キャンパスの事例—— 中井芳男

森に開かれて 中井芳男

特別連載 高校は今「最終回」〜これからの高大接続 続・連携を考える(横浜市編)

横浜市立高校における高大連携の実践 西村英純

大学の支援により広がるサイエンス教育 栗原峰夫

大学での学びにつなげる学習サイクル 富地正博

有機的な高大連携体制の運用成果と今後の展望 中條祐介

私の授業実践——教育現場の最前線から 森本奈理

未来の世代にアメリカ文学ができること

明日への試み

追手門学院大学地域創造学部 「地域創造学部」の挑戦 山本博史

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史 宮崎正美

創立50周年を迎える「白百合の精神」——カトリック大学としての仙台白百合女子大学 宮崎正美

加盟校の幸福度ランキングアップ(グッドデザイン賞編)

新たな大学の顔「学生センター」・獨協大学 城田修司

熊谷キャンパス再開発——分散から融合へ—— 立正大学 山崎和海

「隔て」を廃した修学環境の創出・大正大学 平盛聖樹

クローズアップ・インタビュー アテネ・北京オリンピック トランポリン日本代表、阪南大学職員 廣田 遥さんに聞く (聞き手) 山岡三子

表紙・大学点描 跡見学園女子大学 梅花女子大学

表紙・大学点描 跡見学園女子大学

第365号 (2015・11)



クロスアップ  
インタビュー  
重太みゆきさん

巻頭言 意識して生きよう

片野光男

巻頭論文 主体性を育む環境づくりに向けて

廣瀬良弘

特別原稿

『第14回学生生活実態調査』から読み解く現代学

今尾 真

生像

座談会 『第14回学生生活実態調査』から読み解く

現代学生像とこれからの学生支援

北條英勝／平山令二／桂良太郎／阿藤正道／岩崎

日出男／(司会) 難波功士

「変える」を楽しむ

宮原 明

小特集 大学における防災訓練

3 キャンパス合同による全学地震・防災訓練

金子大輔

南海トラフ巨大地震・津波との戦い―防災訓練・

防災力強化(方向性)について

近隣地域住民参加型訓練による防災力向上

中村匡志

地域における大学―災害に強いまちづくりへの

取り組み―

越智祐子

大学進学率の地域格差の変化と課題

韓国・延世大学に学ぶ国際プログラム―職員交

換協定に基づく派遣―

私立大学フォーラム2015―「イノベシヨ

ン人材と大学教育」総括(東京会場) 各務一徳

と大学の役割」総括(名古屋会場) 角谷千尋

私の授業実践―教育現場の最前線から

経済学の修得・応用に向けての授業改善

内藤克幸

明日への試み

筑紫女学園大学現代社会学部

現代社会を生きる女性を育てる地方女子大学の新

たな試み

龍谷大学農学部

35年ぶりに農学部を開設―その理念と特

赤塚陸男

色― 末原達郎

わが大学史の一場面―日本の近代化と大学の歴史

健康福祉社会の担い手育成を目指して・聖カタリ

ナ大学

加盟校の幸福度ランキングアップ(記念日編)

学生発の新たな文化―浴衣で彩る国際交流―上

智大学

降誕祭―人間の尊厳が輝くとき―・南山大学

新妻佳祐

「大学創立記念日」と「大学記念日」・専修大学

西脇 純

クロスアップ・インタビュー

印象評論家、インプレッションントレーナー® 重太

みゆきさんに聞く

新会員代表者紹介

栗田充治(亜細亜学園)／加瀬公夫(国際大学)／

末安堅二(名古屋学院大学)

新学長紹介

片野光男(福岡女学院看護大学)

表紙・大学点描 福岡女学院看護大学

だいがくのためから 石巻専修大学

第366号(2016・1)



クロースアップ  
インタビュー  
三上 延さん

巻頭言 一世紀前に与えられた使命

カレン・ジュン・シャフナー

年頭所感 変化の時代こそ長期的視野で大学教

育を 清家 篤

巻頭論文 大学論の周辺 松本宣郎

座談会 初年次教育の今

難波功士／横山千晶／安藏伸治／清水正之／(有

会)音 好宏

特集 それぞれの大学・立場から考える、大学に

おけるキャリア教育(支援)とは

就職活動 守られないルールはいつまで続く

渡辺茂晃

就職活動——大学と企業の接続問題 北城悟太郎

大学におけるキャリア教育とは——リベラル・ア

ツの立場から

高木孝子

キャリア教育とスチューデント・ネットワーク——

立命館大学の取り組み

前田信彦

「社会に学び、社会に貢献する」理工系人材の育成

すいそつ

中村朝夫

私学と志

水谷 誠

小特集

留学生へのメンタル／フィジカルな支援

をどう行うか

外国人留学生のメンタルヘルスと危機介入

学生相談の枠組みにおける留学生のメンタルヘル

ス支援

大橋敏子

留学生の心のケアと障がい支援体制——早稲田大

学の取り組み

飯野公一

外国人留学生に対するメンタル・フィジカル支援

——国際大学の取り組み事例

信田グレチェン

法科大学院制度の現状と小規模法科大学院への

期待

宮澤節生

大学生の飲酒問題の現状と課題——大学が行う発

生予防と再発防止

稗田里香

私の授業実践——教育現場の最前線から

大教室授業で秩序を保つ工夫

中村哲之

明日への試み

関東学院大学栄養学部

大学教育における管理栄養士養成課程 倉沢新一

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

戦前の私立大学の総合大学化——大正から昭和初

年の日本大学——日本大学 小松 修

加盟校の幸福度ランキングアップ(記念日編)

「おしゃれの日」——チャレンジ&エレガンスの実

践——梅花女子大学

藤原美紀

成人加冠式——大人になった自覚を促す・國學院

大學

石井研士

ウィーンの香りを運ぶ創立記念音楽会・聖学院

大學

清水正之

クロースアップ・インタビュー

小説家 三上 延さんに聞く(聞き手) 山岡三子

新会員代表者紹介

川井伸一(愛知大学)／山口政俊(福岡大学)／

大塚伸夫(大正大学)

表紙・大学点描 西南学院大学

だいがくのたから 昭和女子大学

第367号(2016・3)



クロースアップ  
インタビュー  
野村忠宏さん

巻頭言 女性である前に

入江和生

巻頭論文 文学からの声——いま、大学教育を思う

安村仁志

座談会 大学図書館はこれからどうなるのか？

竹内比呂也／林 義勝／河内鏡太郎／青木辰司／

(司会) 赤木完爾

特集 少人数教育の効果と課題

少人数教育はいかなる環境において有効なのか？

山内乾史

少人数教育の効果を引き出す——名古屋大学の事

例から

夏目達也

ゼミナールを柱とする少人数教育

清水 敦

教養教育における少人数教育としてのPBL授業

中西良文

少人数教育の一層の実質化をめざして 清水正之

単数形の「Woman」に込められた思い 坂下 史

すいそう 心の原風景 日高義博

障害者差別解消法と大学に求められる対応 井上諭一

私立大学フォーラム2015——「グローバル教 育とは!?」総括(福岡会場) 渡部直樹

私立大学フォーラム2015——「地域と元気を 共有できる大学づくり」総括(松山会場) 高原敬明

私立大学フォーラム2015——「前門に教養主 義の衰退、後門に反知性主義」総括(大阪会場) 原田善教

私の授業実践——教育現場の最前線から 安武妙子

講義計画における学習目標の活用 わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

開校150周年に向けて——第16代学長石橋湛山 の功績を紐解きながら 山崎和海

加盟校の幸福度ランキングアップ《オリジナルミ ネラルウォーター編》

「法政水」による被災地支援活動・法政大学

田中修司

京都生まれの「自然の秀麗」——酒蔵の仕込み水

で地域貢献・関西大学 深井麗雄

社中と域学の絆を強める「慶應の水」・慶應義塾

大学 玉村雅敏

クロースアップ・インタビュー

柔道家 野村忠宏さんに聞く(聞き手) 山岡三子

新会員代表者紹介

三木義一(青山学院)

新学長紹介

上山大峻(筑紫女学園大学)

表紙・大学点描 共立女子大学

だいがくのたから 青山学院大学

座談会 「『入試改革』のこれまでと、これから」

特集 「日本の高等教育は持続可能なのか」

小特集 「教職員の心の健康」

表紙・大学点描 仙台白百合女子大学 だいがくのたから 亜細亜大学  
クローズアップインタビュー：

「森田隼人さん（シャボン玉石けん株式会社代表取締役社長）」

## 編集後記

◆少人数教育は善で、多人数教育は悪、というような二元的な考え方は、乱暴以外何物でもない。海外には教員对学生の平均が一桁という私大もあるようだが、年間の授業料をみてから言うべきであろう。日本の大学の場合、限られた資源（教員・教室など）をどのように配分するか、大学の成り立ちや理念、そして予算計画に則って、授業の規模は決めることだと思う。

多人数教育が主に知識・情報の伝達の場合とするなら、少人数教育は、知識・情報の運用の場、または運用の術を学ぶ場である。多くの大学の初年次からの少人数教育では、多人数教育と連携があるという話はほとんど聞いたことがない。少人数教育で得たスキルを、いかに多人数教育の授業に波及させていくかは、特に文系学部を持つ大学に課された使命になるのではないか。

少人数教育が差別化のポイントであった時代から、山内先生の寄稿にもあるが、教職員がチームとして教育の質の向上、カリキュラムの改善に取り組まねばならない時が来ていると思う。（広報・情報部

門会議（大学時報）委員・神戸女学院大学図書館課長補佐  
宇高 泰輔

◆本号の座談会では、大学図書館の今後についてお話しいただいた。大学図書館は「静」から「動」へ姿を変えるのではなく、「静」も「動」も兼ね備えた「利用者から選ばれる場所」へ変わりつつあるのかもしれない。

現在の図書館の課題として、図書館業務の外部委託化に伴い、専任職員が学生に接する機会が失われつつあることが挙げられたが、これはおそらく図書館だけの課題ではなく、今後あらゆる部署で起こりうる課題ではないだろうか。

大学や図書館だけでなく、構成員である学生や教職員も多様化する中で、「大学人」にとって、本質を見失うことなく、変えることと変えてはならないことを見極める力が今後ますます重要となるであろう。学生が学びたいことを自ら見つけられる仕組みづくり、図書館のみならず、大学全体で取り組んでいく時なのかもしれない。

大学図書館の問題は大学そのものの問題だと捉えると、今回の座談会には、学生から選ばれるためのヒントがあるのではないだろうか。（日本

私立大学連盟事務局 箱崎 宏美

◆インタビューは、柔道家とオリンピック3連覇（アトランタ・シドニー・アテネの金メダル獲得）という快挙を達成された野村忠宏さん。現役時代にオリンピック3連覇の感動を与えてくれたその人は、現役引退後も、誰も到達したことのない高みを目指して歩み出していた。

現役を続けることに悩んでいたときのエピソードとして、所属する㈱ミキハウスの木村皓一社長の「野村くんの挑戦には夢がある。わしはその夢を応援したい」、その言葉で現役を続ける決心がついたというお話が紹介された。木村社長も、実は同コーナリーのゲストとして、第276号（2001年1月）に「登壇」していた。当時のインタビューでは「売り上げを上げることよりも、子どもを大事にし、若い人を応援し、社会に貢献できる企業でありたい」と話されている。

野村さんへのインタビューを通して、頑張っている人を今なお応援したいという、木村社長の当時と変わらない熱い想いが垣間見ることができた。（日本私立大学連盟事務局 春名 貴明）



